



学校だより

つちのこ

令和7年6月6日
長崎市立土井首小学校
校長 小柳 暁

○ 「○か×か」から「○か◎か」に

6月6日（金）は5年生が、科学館・原爆資料館見学学習に出かける日です。

出発予定は8時30分なのですが、学校周辺の道路状況を鑑み、朝から鶴見第1公園に集合し、そこから貸切バスに乗ることにしました。この日、私は毛井首団地までの通学路を巡視する予定だったので、学校へ戻る途中で集合場所に寄り、お見送りをすることにしました。

こんな時は、私のこれまでの経験が頭に浮かび、「公園で大騒ぎしているかもしれない。」「近所の方に迷惑をかけているかもしれない。」など、悪い妄想をしてしまいます。心臓の鼓動が強くなり、歩くスピードは速くなってきます。子どもたちの声が耳に届き始め、公園が見えてきました。「どうしているんだろう」階段を駆け足で登りました。

楽しそうに追いかけてっこをしている子が私に気づき、「校長先生、おはようございます。」と声をかけてくれました。周りにいる子も「おはようございます。」。ベンチに座っていた子も、立ち上がって「おはようございます。」と丁寧なお辞儀をしてくれました。いろいろな子が「おはようございます。」を続けてくれて、あいさつの輪がどんどん広がっていきました。そこには、素直で子どもらしい土の子たちの笑顔がありました。

「これだけでも今日は○だなあ。」率直にそう思いました。そして「科学館でも○、原爆資料館でも○、○がいっぱいの一日にしてください。」と話をしました。その話の間も、下を向いたり土いじりをしたりする5年生はいませんでした。やる気まんまんの土の子たちに、こちらが圧倒されるくらいでした。「もう大丈夫」安心した気持ちで、子どもたちが乗ったバスを見送りました。

学校に戻りながら、「○か×か」ばかりを考えていた自分を恥ずかしく思いました。「○か◎か」のように、子どもの○をどんどん追いかけて、どんどん○を増やしていくことが大切だと、5年生の子どもたちの行動が教えてくれたような気がします。私たち大人が、日々一生懸命に育てている土の子たちです。私たちがもっと胸を張って、自信をもって、子どもたちを送り出そう！と考えた朝でした。

○ 来週からプールを使った学習が始まります。

日中の日差しに汗ばむことも増えてきました。いよいよ、プールを使った学習の季節です。暑い季節を前に、水に親しませたいなあと思っています。

一方で、毎年必ずどこかのプールや海水浴場で、悲しい事故が起きていることも事実です。健康状態のチェックには、なお一層の細やかさが必要だと考えます。

【水泳】健康カードの記入や提出など、準備への御協力をお願いします！！

学校教育目標 **「なりたい自分になる！やりたいことをやる！」**